

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年8月3日 No.19 開会総会まであと1日

「人類と核兵器は共存できない」想い受け継いで

国際会議2日目は、まず、政府代表として国際原子力機関マレーシア代表理事/国際原子力機関理事会議長のムハンマド・シャルル・イクラム・ヤーコブさんがあいさつし、第二セッションの討論を継続しました。

第三セッション「被爆の実相の普及、ヒバクシャ援護・連帯」では、広島被団協被爆者相談室長の渡辺力人さん、韓国原爆被害者協会のホ・ジョンファさん、マーシャル・ロンゲラップ環礁自治体のアバッカ・アンジャン・マディソンさん、フィジー核実験被ばく復員兵士の会のポール・アーポイさん、ロシア・チェリャビ



ンスク核被害者団体のアレクセイ・アドゥシェフさんが発言しました。

討論では、カナダ在住被爆者のセツコ・サーロウさんの「私たちが体験したことを100%継承することはできないが、私たちが思想化した『人類と核兵器は共存できない』ということに至るプロセスを理解して、受け継いでほしい」という発言(上写真)を受けて北海道の高校社会科教師の井村さん(全教)が、「子どもたちが被爆者の話を聞いて涙するのは、その方の抱えてきたいろんな想いを受け取っているから。そういう機会をたくさん作っていきたい」と発言しました(左写真)。

午後2時から6時まで3会場に分かれて開かれた分科会では、セッションごとのテーマで熱心に議論しました。

国際会議・分科会で熱心に討論!



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。